



補習校便り

2025. 5. 3

No. 25—4

マイアミ補習校

校長 嶋中 直幸

全校朝会「世界一周をした若者」の話



4月26日の全校朝会では、世界一周の旅に出て、様々なチャンスを手にした若者の話をしました。その若者は、2003年の8月4日に日本を出発し、アジア—中東—アフリカ—ヨーロッパ—南米—中米—北米と、515日間かけて28か国を訪れました。行く先々で、得意の音楽とサッカーで、現地の人々と心の絆づくりを深めました。

中東では、PLOのアラファト議長の前で歌ったり平和の話をしたりする体験もしました。エジプトでは、あまりのうまさに、サッカーのプロ選手として契約してほしいという誘いを受けました。また、コロンビアでは、現地の有名なバンドに帯同し、コンサートで歌を披露する機会にも恵まれ、歌手デビューしないかとまで言われたそうです。

子どもたちには、この若者がこのようなチャンスに恵まれたのはなぜか、問いました。「準備ができていたから」「がんばったから」など、いい答えが聞かれました。さすがマイアミ補習校の子どもたちです。

私が子どもたちに話したのは、「自分から行動したから」でした。だまって待っていてもだれもアラファト議長の前に連れて行ってくれません。「まぜて。」と、自らサッカーをしている輪の中に入っていかなければプロのスカウトの目にとまる機会もありません。飛び入りで歌を披露したからこそ、歌手デビューのきっかけにもなりました。全ては、もちろん準備をされていて、かつ、自ら行動した結果だったのです。その若者の信念は「キャッチ・ザ・モーメント～その瞬間を逃すな～」です。マイアミ補習校の子どもたちにも、自らの主体性を発揮して、やりたいことかなえたいことに積極的に挑戦してってもらいたい、と話を締めくくりました。

その若者は、皆さんもご存じのナオトインティライミさんです。今後の世界的な活躍を心より期待しております。

朝会の終わりには、令和6年度外務大臣表彰を受賞された秋山久子先生に、児童・生徒、保護者や卒業生、そして先生方から寄せられたお祝いのメッセージを、生徒会長の熊谷さんから手渡しました。誠におめでとうございます！



5月の生活目標

補習校は日本語の学習をするところなので、英語ではなく、日本語で考え、日本語で話そう。

先週、生徒会の会議がありました。初めて参加する小学部5年生に、生徒会についての説明をした後、早速、5月の目標を話し合いました。各学年が持ち寄った案を出し合い、今月は、上記の目標を頑張ろうということになりましたのでお伝えいたします。子どもたちへは、今週の全校朝会にて、生徒会から伝えられる予定です。

上記以外にも、「廊下や階段は走らないで歩こう」や「決まりを守って規則正しい生活をしよう」などの案が出されました。年度初めということで、よりよい補習校にしていこうという意気込みが感じられる内容でした。

新しいお友達の紹介

5月から幼稚部に新しいお友達がやってきました。

中島慶紀（なかしま よしき） さんです。日本から来たばかりですので、みなさんで、補習校の生活に早く慣れるよう、仲良くしてあげてください。

連絡事項

- ◎ 5月3日は、全校朝会があります。昼休みには、生徒会主催の異学年交流会があります。ご飯をしっかりと食べて、交流を楽しんでほしいと思います。
- ◎ フードバンクが予定されています。総務から出された登下校の方法に従って安全に登校してください。
- ◎ 海外子女教育振興財団から、理科・社会科の通信教育のお知らせが来ています。（小3～中3）
10日間の無料体験はこちら→ <https://www.dekitus.net/basic/temporary>

【再掲】海外子女文芸作品コンクールの応募について（小学生以上）

下記のサイトに、応募に関する詳細が掲載されておりますのでご覧ください。国語力向上のために、できるだけたくさんの作品が集まることを期待しております。

→ <https://www.joes.or.jp/kojin/bungei/detail/4>

- ・原稿用紙及び応募票など、全て上記サイトからダウンロードできます。
- ・作文と詩は一人1作品まで、短歌と俳句は一人3作品まで応募できます。
- ・学校で取りまとめ応募することになっていますので、6月21日までにクラス担任を通じて校長までお届けください。どうぞよろしくお願いいたします。